

手術室向け大型モニターソリューション RadiForce LS560W/LX560W 新発売

1. 概要

株式会社ナナオ(本社:石川県白山市、代表取締役社長:実盛 祥隆)は、手術室向け大型モニターソリューション製品 EIZO RadiForce LS560W (56型カラー液晶モニター、オープン価格※)と LX560W(LS560Wと信号配信マネージャーLMM 56800のセット)を2009年7月1日より発売します。

RadiForce LS560Wは、対角56インチの大画面に高解像度8メガピクセル(3840×2160=829万画素)の情報表示を可能にする、手術室内での使用を主に想定した大型モニターです。

手術室において様々な医用画像を表示するには、通常は複数のモニターを並べ、それぞれの画面に映像を表示しています。これに対しRadiForce LS560Wは、その画面サイズと解像度により、従来のモニター約6台分の表示情報量を一つの画面に集約します。

RadiForce LS560Wを利用することにより、複数モニター設置時の問題点である、各モニター画面の色味など表示の違いがなくなると共に、各モニター間の額縁が存在しないことにより視認性が高まるため、作業効率の向上が期待できます。

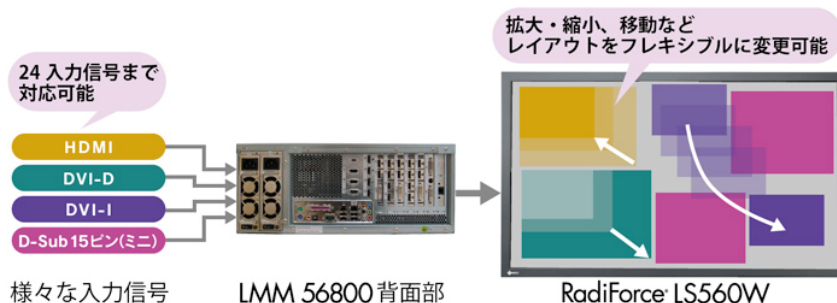
当社は、第三次中期経営計画にて、医療市場を重点市場とし、当分野での圧倒的なNo.1企業としてユーザーの信頼と利便性を飛躍的に高めることを目標としており、その方法の一つとして手術室等の分野にも幅広い展開を行なっていく方針を掲げています。今回発売するRadiForce LS560Wは、本方針の取り組みの一翼を担う製品となります。

※ オープン価格の商品は標準価格を定めていません。



2. RadiForce LX560W もラインナップ

RadiForce LX560W は、大型モニターLS560W に信号配信マネージャーLMM 56800 を同梱したもので、24 もの異なる入力信号の収集、管理、操作、表示に対応可能な大型モニターソリューションです。この信号配信マネージャーを使用することで、モニター画面上の画像表示位置や表示サイズは信号ごとにユーザーが任意で設定可能となります。手術室など、さまざまな撮影装置からの画像や映像などの情報を同時に観察、比較する必要が生じる環境で、煩雑になりがちな画像操作作業の簡素化、効率化を推進します。



3. 主な仕様と機能

- ・ 上下左右 176° の広視野角、コントラスト比 1200:1、輝度 450 cd/m²の液晶パネル採用
- ・ 医療現場の表示階調規格 DICOM Part 14 に準拠した表示が可能
- ・ 安定した輝度で明るい画像を映し出す調光機能
- ・ 輝度均一性を向上させる Digital Uniformity Equalizer (DUE) 機能
- ・ 衝撃やキズなどからモニター表面を守る保護パネル付き
- ・ 各種医療規格、安全規格に対応
- ・ その他さまざまなモニターケーブルやアダプタを準備(オプション)

2009 国際医用画像総合展 (ITEM 2009)に出展します。

当社ブースでは、今回発表の製品の他、最新のメディカルモニターソリューションを紹介致します。この機会に是非ともご来場下さい。

- 会期:2009年4月17日(金)~19日(日)
- 会場:パシフィコ横浜 展示ホール A・B・C・D
- 当社ブース:109

本製品は医療機器ではありません。EIZO、RadiForce は株式会社ナナオの登録商標です。外観および仕様は改善のため予告なく変更することがあります。 Copyright © 2009 株式会社ナナオ All rights reserved.

【 お客様からのお問い合わせ先 】

株式会社ナナオ 営業1部 メディカル課
TEL:03-5715-2014(代) FAX:03-3458-7001
サイト: <http://radiforce.com/jp/>

【 報道関係各位のお問い合わせ先 】

株式会社ナナオ マーケティング部 販売促進課
TEL:076-277-6795 FAX:076-277-6796 E-Mail: press@eizo.co.jp
サイト: <http://www.eizo.co.jp/press>